

1 はじめに

本校では、集団の一員としての自覚を深め、協力してよりよい生活を築こうとする主体的・実践的な態度を育てることを特別活動の目標としている。そこで、児童自らが話し合い、活動する内容を決めることで、一人一人が進んで活動できるよう取り組んでいる。今回は、運営委員会の活動内容と全校で取り組んでいる縦割り班活動「ハッピータイム」についての実践を紹介する。



2 資料

(1) 運営委員会の活動

月	活動名	月	活動名
4	1年生歓迎集会	7	創立150周年記念式典
5	運動会スローガン決め	11～1	委員会紹介
6～7	創立150周年記念式典準備	3	6年生を送る会

ア 創立150周年記念式典

(ア) 7月1日の150周年記念式典に向けて、式典の司会や豊浦小学校の歴史についてのスライドショー、創立記念〇×クイズの運営を行った。スライドショーは、150周年の歴史について知ってもらい、学校をもっと好きになってもらうことをねらいとしている。運営委員会では、全学年に分かりやすいようなスライドショーを作成した。〇×クイズは、地域の方が考えた問題と運営委員会が考えた問題を出題し、式典本番は、児童が楽しそうに参加していた。



(2) 縦割り班活動「ハッピータイム」について

本校の縦割り活動は、「ハッピータイム」という名称で、1年生から6年生までを16グループに分け、月1回、ロング昼休みに行っている。6年生がリーダーとなり、活動場所や下級生の意見を参考にしながら遊びの内容を計画し、準備したり当日の進行を行ったりしている。遊びの内容は、田んぼの田、サルサメなど、全学年が楽しめる遊びを行っている。6年生は、意欲的に計画を立て、下級生の面倒をよく見ている。また、5年生は2年生の活動場所までの送り迎えをしており、徐々に最高学年への意欲が高まっている。1～4年生は、普段とは違う異学年での交流を楽しみにし、生き生きと活動している。

3 成果と課題

150周年記念式典を通して、豊浦小学校の歴史を知り、愛校心を養うことができた。

また、縦割り班活動を通して、学級や学年をこえた人間関係をつくることができた。高学年を中心とし、児童同士で遊びが成功するよう自主的に協力し合って活動する姿が見られた。限られた活動時間の中で、さらに集団活動を活性化させるためにはどうすればよいか、検討していく必要がある。